

地球

昭和三年七月
第十七号
第拾卷

地球 第拾卷 總目錄 昭和三年七月—十二月 (アラビヤ數字は號數を示す)

圖版

| | | | | |
|----------------------------|------------------|-------|-------|------------------------|
| 第一版 | 京都府船井郡三宮村質志鍾乳洞 | | | (第一號) |
| 第二版 | 長野縣市町村別人口密度圖 | | | (第二號) |
| 第三版 | 長野縣大笹山と八島池 | | | (第三號) |
| 第四版 | 蘇國エデンバラ風景とホーリールド | | | (第四號) |
| 第五版 | ライプテヒ大學とハルレ大學本館 | | | (第五號) |
| 第六版 | 濟州島漢拏山と濟州島住民 | | | (第六號) |
| 第七版 | 室生山産斜長石斑晶平射圖 | | | (第六號) |
| 國境に就いて(上) | | | 2.1 | 小川 琢治 |
| 國境に就いて(下) | | | | |
| 蛭石に就いて(概報) | | | 1 | 神津 徹 吉木 文平 上田 潤一 |
| 温泉の湧出曲線に就て | | | 1 | 石川 成章 |
| 信濃中部第三紀層の分類(四) | | | 2.1 | 本間不二男 |
| 隱岐島前群島に於けるアルカリ粗面岩岩脈につきて(三) | | | 1 | 下間 忠夫 |
| 丹波質志鍾乳洞 | | | 1 | 君塚康治郎 |

西遊夢錄

(十一)
(十二)
(十三)
(十四)
(十五)

0-5-4-3-2-1

瀧川 規一

地質上より見たる札幌附近の地震

2

渡瀬正三郎

長野縣に於ける人口現象の一端に就て

2

春日 琢美

日本島弧に於ける地殻運動に就いての一假定

2

船越 素一

矢作川沖積地の地名起原

2

野口 喜一

長石の識別法に就いて

(三)
(四)

0-5-4-3

小川 琢治

方解石の加熱線膨脹(概報)

3

神津 傲祐
可兒 弘一

信濃國小縣郡に於ける三、四の温泉の溫度及び湧出量の長期に互れる測定の結果に就いて

3

片岡 山人

消費地理に關する二三の問題

3

西龜 正夫

岩石の放射性時辰儀

3

上田潤一(譯)

六甲山地の形成

4

本間不二男
君塚康治郎

朝鮮福辰山産方曹達石

4

原口 九萬

橄欖石中に含まれる水分に就て

4

(ペー・ゴスナー)

第十二回萬國地理學會議彙報

4

田中 秀作

花折斷層の豫察

5

中村新太郎

九一
國六三三
六三三
三三三
三三三

二四〇
二四〇
二四〇
二四〇
二四〇

二七二
二七二
二七二
二七二
二七二

一八

二六

二二

二六

二五

三三

地理學的單元論……………5 金尾 宗平……………三五

獨逸の地理學界(一)……………6.5 寺田 貞次……………三三

濟州島火山岩中の斑晶及第三紀化石……………5 原口 九萬……………三〇

朝鮮東萊產斑礫岩の礦物成分……………6 春本 篤夫……………三〇

濟州島アルカリ岩石(豫報其一)……………6 原口 九萬……………三六

露西亞の領土と人口……………6 (ベンゲヤミン・セメノフ・チヤンシヤンスキー)……………四三

講 話

本邦鑛業の今昔……………3 石川 成章……………三九

岩石學用顯微鏡の使用法……………0.5.4 小川 琢治……………三六

本邦鑛產物並に鑛床の地理的分布……………5.4 石川 成章……………三九

摘 錄……………鑛物と地質……………1 世界地理讀本……………一六

中村左、奥丹後地震報告の一部……………3 奄美大島貝類目錄……………一〇

田山、丹後但馬地方の地形發達史結論……………3 ショリー説による地殼の輪廻……………一五

半澤、北太平洋南西部に於ける海底堆積物に就て……………4 地形圖の研究……………一五

新著紹介……………理論岩石鑛物學……………一五

關東の地質……………七 春日神社文書第一……………一五

グラフ中心日本地理年鑑……………七 滿洲考古學……………一五

地球 第十卷 總目錄

| | | |
|------------------------|---|----|
| 地形圖と地質圖 | 2 | 一五 |
| 本邦各火山文獻集 | 3 | 三〇 |
| 地理教材研究第十二輯 | 3 | 三七 |
| 經濟地理の教養 | 3 | 三七 |
| 人文地理學研究 | 4 | 三〇 |
| 支那歴史地理研究 | 4 | 三〇 |
| 世界地理の史的考察 | 4 | 三〇 |
| 東京市郊外に於ける交通機關の發達と人口の増加 | 4 | 三〇 |
| 臺灣山岳(新高山集) | 4 | 三七 |
| 朝鮮氣溫表 | 4 | 三七 |
| 富士の地理と地質 | 5 | 三九 |
| 信州高遠地方の地質 | 5 | 三九 |
| 關東大地震の真相 | 5 | 三九 |
| 朝鮮鑛床論の片鱗 | 5 | 三八 |
| 帝都近郊地理要習錄 | 5 | 三八 |
| 世界現勢地圖、世界地勢地圖、世界産業交通地圖 | 5 | 三六 |
| 臺灣文化志 | 6 | 三六 |
| 日本農業地圖 | 6 | 三六 |
| 世界鑛産概勢 | 6 | 三六 |
| 日本人口分布圖 | 6 | 三六 |
| 土地地質學 | 6 | 三六 |

新著即報

| | | |
|-------------------|---|----|
| 昭和三年十月 | 4 | 三七 |
| 同 十一月 | 5 | 三八 |
| 同 十二月 | 6 | 三〇 |
| 雜 報 | | |
| 柵原鑛山事業概要 | 1 | 六 |
| 朝鮮の對内地貿易 | 1 | 七 |
| 本邦と南阿聯邦との交通 | 1 | 六 |
| 支那の茶 | 1 | 六 |
| フイジー島事情 | 1 | 九 |
| グアテマラ國の産業 | 1 | 八 |
| クニヤ、ウガンダ兩鐵道の直通 | 1 | 八 |
| 白領コンゴのラヂウム | 1 | 八 |
| 愛知地理學會第三回、第四回例會 | 2 | 四 |
| 上高地の風光 | 2 | 四 |
| 三宅島について | 2 | 五 |
| 日本粟の米國行 | 2 | 五 |
| 米國の發達 | 2 | 五 |
| ブラジル糖業の副産物リズガ | 2 | 七 |
| 十卷二號(日本島弧)一一九頁の正誤 | 3 | 六 |
| 東京高等師範學校教授佐藤傳藏の逝去 | 3 | 六 |
| 夏期學校から | 3 | 六 |
| 北支那沿岸の航路網 | 3 | 六 |

| | | |
|-----------------------|---|-----|
| 巴里と倫敦 | 3 | 三三〇 |
| ホルトリコ島 | 3 | 三二九 |
| 我國在外名譽領事所在地 | 3 | 二四〇 |
| 十卷三號(本邦鐵業の今昔)二一九頁の正誤 | 4 | 二六〇 |
| 北京及直隸省の改稱 | 4 | 三〇六 |
| 濟州島の烽燧 | 4 | 三〇九 |
| 岡山縣津山附近の第三紀アンプリナ産地 | 4 | 三〇九 |
| 南洋バルマス島和蘭領に確定す | 4 | 三三〇 |
| 英國の石油井 | 4 | 三三〇 |
| ゾオルガ舟運現況 | 4 | 三三一 |
| 錫蘭島の茶 | 4 | 三三一 |
| ラテツクス(謾談乳液) | 4 | 三三二 |
| 米國婦人向きキモノ | 4 | 三三二 |
| セルボ、グロアート、スロヅエーヌ國の海運業 | 4 | 三三三 |
| 蘭領東印度鐵嶺 | 4 | 三三四 |
| 加奈陀帝國公使館開設 | 4 | 三三四 |
| 砂漠の成因に關する新研究 | 4 | 三三四 |
| 薩南硫黃島、寶島、小寶島の地形 | 5 | 三三四 |
| 朝鮮の人口 | 5 | 三三七 |
| 北支那の中生代以後の地史 | 5 | 三三七 |
| マダカスカル島事情 | 5 | 三三八 |
| 日本とチユニスの通商 | 5 | 三三九 |
| 黒海岸に於けるトルコの諸港 | 5 | 三三九 |

質疑應答

| | | |
|--------------------|---|------|
| 露國コーカサス石油の事情 | 5 | 三三〇 |
| 第六版解説 | 6 | 三三七 |
| 滋賀縣高島郡泰山寺野 | 6 | 三三八 |
| 大阪市の地盤耐力分布 | 6 | 三三九 |
| 伯備線全通 | 6 | 三三七〇 |
| 咸鏡線全通 | 6 | 三三七〇 |
| 北滿に於ける新設諸鐵道 | 6 | 三七一 |
| 最近三年間の世界石油産額表 | 6 | 三七三 |
| アルバニヤ國體變更 | 6 | 三七二 |
| 大西洋横斷電話の發展 | 6 | 三七三 |
| 奈良地理學會講演會 | 6 | 三七三 |
| 北米大湖水面下降問題 | 7 | 三八一 |
| オデツサ港の近況 | 7 | 一七〇 |
| 一九二七年世界石油産額 | 7 | 一七八 |
| 西印度諸島の成因について | 7 | 三三四 |
| 米國中西部の農況 | 7 | 三三五 |
| 南米に於ける石油産出の將來 | 7 | 三三三 |
| タア林的繁茂時代及其の分布狀態 | 7 | 三三三 |
| 日本の安山岩、流紋岩、花崗岩の特異點 | 7 | 三三三 |
| 呼倫貝爾の獨立運動 | 6 | 四七三 |
| 硫酸―球隕、外七語の異同正否 | 6 | 四七三 |

地球 第十卷 總目錄

地球學園々員名簿

昭和三年十一月一日現在……………6…四七四頁ノ次頁ヨリ

地球

第九卷 第一號

昭和三年七月一日發行

主要目次

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------|-----------------|-----------------|---------------------|---------------------------------|--------------|--------------|-----------|---------|-----------|-------------|
| 圖版 第一版 京都府船井郡三宮村質志鍾乳洞 | 國境に就いて(上)..... | 蛭石に就いて(概報)..... | 溫泉湧出曲線に就いて..... | 信濃中部第三紀層の分類(四)..... | 隱岐島前群島に於けるアルカリ粗面岩々脈につきて(三)..... | 丹波質志鍾乳洞..... | 西遊夢録(十)..... | 新著紹介..... | 雜誌..... | 質疑應答..... | 第九卷總目錄..... |
| 理學博士 | 理學博士 | 理學士 | 理學士 | 理學士 | 理學士 | 理學士 | 文學士 | | | | |
| 小川 琢治 | 小川 琢治 | 神津 俣平 | 石川 成章 | 本間 不二男 | 下間 忠夫 | 君塚 康治郎 | 瀧川 規一 | | | | |

京都帝國大學
地球學園

地球第拾卷第二號（昭和三年八月）

豫告

圖版 第二版 長野縣市町村別人口密度圖

國境に就いて(中)..... 理學博士 小川 琢 治

地質學より見たる札幌附近の地震..... 理學士 渡瀬 正三 郎

信濃中部第三紀層の分類(五)..... 理學士 本間 不二 男

日本島弧に於ける地殻運動に就ての一假定..... 船越 素一

長野縣に於ける人口現象の一端に就きて..... 春日 琢美

矢作川沖積地の地名起原..... 野口 喜一

西遊夢 錄(十一)..... 文學士 瀧川 規一

講話

長石の顯微鏡研究法..... 理學博士 小川 琢 治

鑛物と其の化學性分..... 理學士 石川 成 章

摘錄

新著紹介

雜誌報

質疑應答

地球第拾卷第一號 (昭和三年七月)

目次

圖版 第一版 京都府船井郡三宮村實志乳鍾洞

國境に就いて(上)……………理學博士 小川 琢 治…一

蛭石に就いて(概報)……………
 理學博士 神 津 俣 祐
 理學士 上 吉 木 文 平…三
 理學士 田 潤 一…三

溫泉の湧出曲線に就て……………理學士 石 川 成 章…三

信濃中部第三紀層の分類(四)……………理學士 本 間 不 二 男…四〇

隱岐島前群島に於けるアルカリ粗面岩岩脈につきて(三)……………理學士 下 間 忠 夫…四

丹波實志鍾乳洞……………理學士 君 塚 康 治 郎…四

西遊夢錄(十)……………文學士 瀧 川 規 一…七一

新著紹介

○關東の地質 ○グラフ中心日本地理年鑑

○鐵物と地質 ○世界地理讀本

雜報

○榎原鐵山事業概要 ○朝鮮の對内地貿易 ○本邦と南阿

○北米大湖水面下降問題

質疑應答

聯邦との交通 ○支那の茶 ○フイツト島事情 ○グアテ
 マラ國の産業 ○ケニヤ、ウガンダ兩鐵道の直通 ○白領
 コンゴのラヂウム

地球圖書の葉 (十三)

譲り渡したし

- 1 〇地學雜誌、第二四一號、第二七一號、第二七五號、第二八九號、第二九〇號、第三一四號、第三四〇號、第三四二號、第三四三號、第三四四號、第三七五號、第三七六號、第三九二號、第三九三號、第三九四號、第三九五號、第三九六號、第三九七號より第四五〇號まで全部、第四五八號、第四六二號。
 - 2 〇大日本帝國地質圖、百萬分ノ一、或二百萬分ノ一。
 - 3 〇地理學評論、第一卷第一號ヨリ第三卷第二號マデ。
 - 4 〇地球、第一卷第一號ヨリ第六卷第二號マデ。
 - 5 〇地理教育、第一卷第一號ヨリ第四卷第二號マデ。
- 右希望者、臺中州彰化街東門九八 井戸川宗則

地球前號(第九卷第六號)要目

圖版 第六版 隱岐島前地質略圖

政治學者の觀たる國家(一)

理學博士

小川 琢 治

甲斐國佐野產透輝石の光學性質化學

理學博士
理學士

神 津 俣 祐
瀨 戸 國 勝
上 田 潤 一

性質及溫度の變化に因る容積の變化

理學士

本間 不二 男

信濃中部第三紀層の分類(二)

理學士

隱岐島前群島に於けるアルカリ粗面岩々脈につきて(二)

理學士

高 根 勝 利 譯

長石類の微細構造に就きて(エー・シーボルト)

飛驒山脈に於ける構造土の新紹介

西遊夢錄(九)

石油地質學概要(二十、完)

講 話

文學士 瀧 川 規 一

理學士 大 村 一 藏

摘 著 新 著 疑 問 答 報 告 錄

地球學園規約

- 第一條 本學園は地球學園といふ。
- 第二條 本學園は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の組織を以てする。
- 第三條 事務所を京都市白川邊分町京都帝國大學地質學教室内に置く。
- 第四條 本學園の事業は次の如くである。
 - 一 雜誌並に圖書の刊行
 - 二 講演會の開催
 - 三 實地見學の指導
- 第五條 本學園員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學園員になりたし人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以止を發行所へ送金する事。
- 第七條 學園を脱退しやうとする者は、其の旨を學園に通知すること。

註文規定

- ① 購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい。
- ② 本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候。
- ③ 郵券代用にての御註文は一割増に願上候。
- ④ 振替貯金にての御送金は(振替大阪七參參番、東京五貳六〇七番)博多成象堂に願上候。
- ⑤ 前金切れの場合に「前金切」の印章押捺致すべきに付直に御拂込下され度候。
- ⑥ 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候。

| | | |
|---------|--------|-------|
| 一册(前金) | 定價金五十錢 | 郵税金參錢 |
| 六册(前金) | 定價金參圓 | 郵税不申受 |
| 十二册(前金) | 定價金六圓 | 郵税不申受 |

特大號定價の差額は別に申受候

廣告料 一頁 金五十圓

昭和三年六月廿五日印刷納本 (第一拾卷) 定價金五拾錢
昭和三年七月一日發

不許複製
禁轉載

編輯者 京都帝國大學 地球學園

有代表者 藤田元春

發行者 博多久吉

印刷者 井下精一郎

印刷所 井下書籍印刷所

發行所

大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
博多成象堂
電話特南壹壹七七番

發賣所

博多成象堂
振替(東京五貳六〇七番)大阪七參參番

所 賣 處
 (東京) 東京堂 東海堂 大東館
 (大阪) 北隆館 參文社
 (神戶) 寶文館 川瀨日進堂
 (京都) 共盛社 大盛社
 (名古屋) マガジン 川瀨書店 星野書店

CHIKYŪ THE GLOBE

Vol. X. No. 1.

July, 1928.

Plate 1. The Limestone Cave of Shizushi, Funaigun
Kyōtōfu.

On the Frontiers.

By T. Ogawa, *R. H.*1

Vermiculites in Japan.

By S. Kōzu, *R. H.*, B. Yoshiki, *R. S.*
and J. Ueda, *R. S.*13

The Flow Curve of Mineral springs of Japan.

By S. Ishikawa, *R. S.*22

Classification of the Tertiary of the middle part of
Shinano Province (4).

By F. Homma, *R. S.*40

Dykes of Alkaline Trachyte in the Tōzen Archipelago
of Cki (). By T. Shimoma, *R. S.*54

The Limestone Cave of Shizushi, Tamba Province.

By K. Kimizuka, *R. S.*65

Life of the Highlanders in Scotland (10).

By K. Takigawa, *B. S.*71

Abstract - New Books - Geographical Notes - Inquiries.

Contents of Vol. IX.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University.